

■シリーズ開幕戦『カタールGP』で、日本人ライダー好調なスタート！  
第2戦、日本グランプリでの優勝に期待がかかる！

MotoGPクラス青山博一選手、デビュー戦でトップ10入りを達成  
Moto2クラス富沢祥也選手、歴史的な新カテゴリーの初レースで優勝

2010年4月11日（日）、MotoGP世界選手権シリーズ開幕戦『カタールGP』がロサイル・インターナショナル・サーキット（1周5・380キロ）で行われた。現地時間23時スタートのナイトレース、2番手スタートのバレンティーノ・ロッシ選手はトップを走行していたポールポジションのケーシー・ストーナー選手の転倒により、6ラップ目以降トップを独走し、通算6勝目となる開幕戦優勝を飾った。2位フィニッシュは3番グリッドのホルヘ・ロレンソ選手となり、3年連続の開幕戦表彰台を獲得。3位フィニッシュは6番グリッド Honda のアンドレア・ドビツィオーソ選手となった。昨年250ccクラスでチャンピオンに輝き MotoGP クラスにステップアップした青山博一選手はデビュー戦でトップ10入りを達成した。また、新設された Moto2 クラスでは、9番グリッドの富沢祥也選手が歴史的な新カテゴリーで記念すべき初優勝を飾った。5番グリッドの高橋裕紀選手は、トップグループ内で走行中の8ラップ目に転倒。惜しくもリタイアとなったが、日本グランプリでの表彰台に期待がかかる。

日本人ライダーの活躍が楽しみなシリーズ第2戦、日本グランプリはツインリンクもてぎにて4月23日（金）～25（日）に開催する。

最高峰 MotoGP クラス

デビュー戦でトップ10入りを達成！

青山博一選手



出生地: 千葉県

生年月日: 1981/10/25

体重: 55Kg.

身長: 165cm.

5歳の頃、父に連れられ千葉北ポケバイコースへ行き、その楽しさを知ってからバイク中心の生活がスタート。2003年には全日本ロードレース選手権 GP250 クラスチャンピオンを獲得。2009年には250ccクラスの世界チャンピオンとなり、最高峰MotoGPクラスにステップアップ！2010年、新たな挑戦が始まる。

【公式HP】 <http://www.hiro-aoyama.com/index.html>

新カテゴリーMoto2クラス

歴史的な初レースで見事優勝！

富沢祥也選手



出生地: 千葉県

生年月日: 1990/12/10

体重: 56Kg.

身長: 166cm.

多くのライダーたちを輩出した千葉県出身で、3歳の時にポケバイに乗り始め、2006年から全日本選手権 GP125 への参戦を開始。1年目にランク2位を獲得して、ルキー・オブ・ザ・イヤーを獲得した。2010年は、新設 Moto2 クラスに参戦し、開幕戦の『カタール GP』では新カテゴリー初優勝という歴史に残る結果を出した。

【公式HP】 <http://www.shoya48.com/>

## ■ 『ライダー王国千葉』 ～伝説の千葉県出身ライダーと時代を担う若手ライダー～

### 伝説の世界チャンピオン原田から引き継がれる系譜

1993年の世界グランプリ 250cc クラス・チャンピオンとして、当時ヨーロッパでは絶大な人気を誇った原田哲也をはじめ、宇川徹、中野真矢、宇井陽一、松戸直樹、青山周平といった元世界グランプリライダーに加え、昨年の250ccクラスのチャンピオンで、今年から世界グランプリ最高峰MotoGPクラスに参戦を開始した青山博一、そして今年の世界Moto2クラス開幕戦でいきなり勝利をあげた富沢祥也など、これまで世界グランプリで活躍した日本人選手のなかで千葉県出身選手の占める割合は非常に高い。

### 理想的なレース環境

千葉県内にはツインサーキット茂原（茂原市）をはじめ、千葉北ポケバイコース（千葉市）京葉スピードランド（長生郡）など、ポケバイレースやミニバイクレースを活発に開催するサーキットがある。この理想的なレース環境こそ、選手が育つ大きな理由と言われている。そして近県には、全日本ロードレースが開催される筑波サーキット（茨城県）、さらに国際規格サーキットのツインリンクもてぎ（栃木県）があり、ポケバイレースやミニバイクレースよりも大きなバイクを扱う本格的なロードレースにステップアップする環境も整っている。近年の世界グランプリで活躍するライダーの多くは、幼少時代からポケバイレースやミニバイクレースで腕を磨いており、9度の世界チャンピオンを獲得しているバレンティーノ・ロッシもその一人である。

### 少年時代から磨かれるレースセンス

前述の千葉県内の各サーキットがモータースポーツ、特に初めてレースを体験する子ども向け入門クラスのバイクレースを積極的に開催し、長年に渡り高いレベルを維持していることは、地元千葉県の選手育成に大きな影響を与えている。ただ単に走行できる場があるということではなく、同年代のライバルの中で厳しい戦いを繰り広げながら成長できるということが特筆すべき点と言える。

ライダー育成という意味では、鈴鹿サーキットレーシングスクール（SRS）のように企業が独自のプログラムでライダーを育成するという仕組みはあるが、地域という規模で若手ライダーの育成がここまで成功している例は珍しく、世界的に見ても最高レベルの形と言える。それはこの20年間の実績が証明している。



2001年 日本グランプリ 原田哲也 選手



2004年 日本グランプリ 中野真矢 選手

## 次世代の日本を担うヤング千葉県ライダー

こうした流れは現在も脈々と受け継がれており、今年から全日本ロードレース最高峰 JSB1000 に参戦する藤田拓哉（1994年 11月 28日 / 15歳）、すでに2年間の世界グランプリ 125cc クラス全戦参戦の経験を持ち、今年戦いの場を一度日本に移し、全日本ロードレース ST600 クラスのチャンピオン候補筆頭、中上貴晶（1992年 2月 9日 / 18歳）、さらにJ-GP3の篠崎佐助（1993年 6月 8日 / 16歳）、阿部典史の遺志を次ぐチームノリックヤマハに所属する野左根航汰（1995年 10月 29日 / 14歳）など、次世代を担う才能あふれたティーンズ・ライダーたちが多数控えている。さらには、ポケバイレースやミニバイクレースに現在参戦している、もっと下の世代まで含めれば、さらにその数はさらに増大する。



藤田拓哉 選手



中上貴晶 選手



篠崎佐助 選手



野左根航汰 選手

『レーサー王国千葉』。これからも全日本ロードレースはもちろん、世界のロードレースシーンでその名を轟かせることは間違いない。

## ■ワイルドカード ライダー情報

4月25日（日）にツインリンクもてぎで決勝レースが行われる2010 MotoGP 世界選手権シリーズ 第2戦 日本グランプリに、ワイルドカードで参戦するライダーが決定しました。

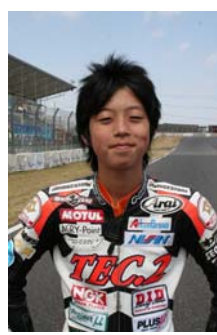
No	クラス	ライダー	生年月日	チーム名	マシン	所属県
88	125cc	大久保 光	1993/8/11 (16歳)	18 Garage Racing	Honda	東京
89	125cc	矢作 雄馬	1990/7/26 (19歳)	Okegawajuku & Endurance	Honda	東京
91	125cc	篠崎 佐助	1993/6/8 (16歳)	Team TEC2	TEC2	千葉
94	Moto2	手島 雄介	1983/1/26 (27歳)	FCC TSR	TSR	埼玉
93	Moto2	高橋 江紀	1987/9/3 (22歳)	Burning Blood RT	RBB	埼玉



No.88 125cc クラス  
大久保 光 選手



No.89 125cc クラス  
矢作 雄馬 選手



No.91 125cc クラス  
篠崎 佐助 選手



No.94 Moto2 クラス  
手島 雄介 選手



No.93 Moto2 クラス  
高橋 江紀 選手

ーレースファン必見イベントー

グランプリ・モーターサイクル日本版発売記念トークショー

世界最高峰レーシングマシン進化の歴史。

激化する競争、変貌する技術、そして、世界最高峰のライダー達からのフィードバック。1949年から続く世界選手権において、この継続的な進化の歴史が現代のMotoGPマシンや市販のスーパースポーツの形を導いた。世界を知る男 元GPライダー根本健と宮城光が、変化を続ける最高峰レーシングマシンの進化の歴史を語る。

さらに！サプライズゲストとして、数々の伝説的レースの立役者となったあの世界チャンピオンが登場予定！！

日時：4月24日（土）17:00～17:45

場所：ファンファンラボ ステージ

主催：ウィック・ビジュアル・ビューロウ

担当：太郎良雄馬（タロラ ユウマ）

tarora@wick.co.jp Tel.03-5363-1070 Mobile.090-3404-4244



●根本健 Ken Nemoto

エイ出版 RIDERS CLUB

1975-78年までロードレース世界選手権参戦。

1948年東京生まれ。小学生から鉄道に飛行機と、オタク街道まっしぐらだったのが、ナゼかバイクの道へ。ロードレースに憧れ'73年全日本チャンピオン。'75～'78年に世界GPにチャレンジ。帰国後ライダースクラブ編集長となり28年間雑誌づくり人生。最近ではビンテージバイクにもハマリ、レースやツーリングに楽しみを広げている。



●宮城光 Hikaru Miyagi

81年CBX400Fでデビュー。F・F・GP250はモリワキ、GP500はHRC契約ライダーで全日本参戦。その後渡米し、93年全米選手権600ccチャンピオン。98年帰国と同時に4輪レース参戦。99年スーパー耐久チャンピオン。01年十勝24時間耐久レース優勝（スーパー耐久・ビームス無限インテグラ）。現在、本田技研工業モータースポーツ契約、8時間耐久監督、安全運転講話MotoGPテレビ解説者。コレクションホール動態確認テストでは様々なマシンの実走行テストを行っている。

※天候不良時はサイン会実施会場となるため、イベント内容が変更となる場合がございます。

## ■最新イベント情報②

### がんばれキッズ！ノビー&ピエール トークライブ

世界グランプリで活躍した上田昇と場内実況でおなじみピエール北川によるトークライブ。現在はチームノビー監督として若手育成に情熱をそそぐ上田昇ならではの視点で、子どもがバイクに乗る楽しさ、レース活動をはじめには、といった話をグランプリの裏話を交えながら披露。

日時：4月24日（土）16:20～16:50

場所：ファンファンラボ

出演：上田昇、ピエール北川

※雨天時などサイン会の会場となるため、変更・中止となる場合がございます。



上田昇

### 初観戦の女性必見！

#### 中野真矢と見学するHonda Collection Hall

MotoGP PRプロデューサー中野真矢のフリートークを聞きながら、Honda Collection Hall 3階南棟のレーサーバイク展示フロアをご見学いただけます。

ご見学後、RC212V（2007年式・Konica Minolta Honda）とともに中野真矢との記念撮影を行います。（カメラはご自身でご用意ください）

日時：4月24日（土）12:15～12:45

受付：Honda Collection Hall 1階インフォメーション

※当日9:00～9:30抽選券配布 ⇒ 9:45当選発表

※抽選券はお一人様につき、1回かぎり1枚お配りいたします。

定員：女性限定 20名様（抽選）

料金：無料 ※記念撮影の車両は変更になる場合がございます。



### 初観戦の女性必聴！

#### ガイドツアー「Hondaロードレースの歴史」

Honda Collection Hall3階南棟に展示中のレーサーバイクを題材に、ガイドツアーを行います。初観戦の女性に分かりやすく、“見て解る”Hondaロードレースの歴史をご案内いたします。

日時：4月24日（土）15:30～16:00

4月25日（日） 9:30～10:00

受付：Honda Collection Hall 1階インフォメーション

定員：10名様 ※女性同伴の男性のお客様もご参加が可能です。

料金：無料

## ■最新イベント情報③

### ガイドツアー

#### Honda2輪モータースポーツ活動の歩み

3階南棟2輪レーシングマシンフロアを  
スタッフがご案内します。

日時：4月23日（金）11：00、14：00、15：30

4月24日（土）11：00、13：00

場所：Honda Collection Hall 3階南棟

定員：10名様

料金：無料

※ 館内のご利用状況により実施できない場合があります。



## ーファミリーで楽しめるイベントー

### 中野真矢とキッズバイクパレード

募集期間中、モビパーク内プッチタウンにてキッズバイクに乗ったお子様は中野真矢さんとスーパー  
スピードウェイをパレードしていただけます。コチラレーシングも登場します！

日時：4月25日（日）10:45～11:00

場所：スーパースピードウェイ ※受付場所 プッチタウンチケット売り場（事前受付が必須）

対象：小学生以上

定員：先着6名様

募集期間：4月11日まで ※モビパーク内プッチタウンにて募集中です。

### 中野真矢が語るM o t o G Pの魅力！

#### 観戦するならココだ！

中野真矢がスーパースピードウェイ上からM o t o G Pの練習走行時間に合わせて、お客様へ見所の  
ポイントなどを説明します。グランプリライダーだからこそできる観戦の魅力ポイント等が分かるも！？

日時：4月24日（土）10：10～10：55

場所：1 コーナー仮設スタンド

定員：700名様

料金：無料

## ■最新イベント情報④

### MotoGPレーシングトラックバスツアー ～スペシャル バスガイド予定～

高橋裕紀選手・富澤祥也選手・手島雄介選手・中野真矢をバスガイド（予定）に  
MotoGP走行前のレーシングコースをバスに乗って、コース1周の体験走行いただけます。

日時：4月23日（金）10：20～11：05

場所：ロードコース1周 ※受付中央エントランス（エスカレーター前特設ブース予定）

定員：360名様

料金：1,000円 ※3歳未満は無料：お席はご利用いただけません

バスガイド（予定）：高橋裕紀選手、富澤祥也選手、手島雄介選手、中野真矢

### ASIMOスーパーライブ

実際に動くASIMOをご覧ください。「歩行」だけでなくドリンクを運んだりボールを蹴ったり、  
時速6kmの走りもご覧ください。

日時：4月23日（金） 11：30、13：30

4月24日（土）、25日（日）10：30、11：30、12：30、16：30

場所：Honda Collection Hall 1階 オリエンテーション室

定員：150名

料金：無料



### オープニングセレモニー 国歌斉唱に『Sing-0』決定。

ハートを震わす艶やかなwavy voiceと圧倒的な歌唱力、ライブでのパフォーマンスは圧巻！

「次世代の歌王」として注目度急上昇中！の『Sing-0』による国歌斉唱を行います。

日時：4月25日（日）オープニングセレモニー

場所：ポードィアム



2004年デビュー曲『別れを…it's so hard』がカード会社のCM曲として米国  
限定でon air。2009年6月、TOKYO FM特番「ルマン24 2009」の為に渡仏  
（野田英樹選手に帯同）、「PRIDE～24Limit～」を書きおろし番組  
テーマ曲として提供、着うた第1位を獲得。また携帯音楽配信最大の  
レコチョククラブ・サイトでは、宇多田ヒカルの『First Love』のカヴァーを  
含む3曲が連続第1位に輝く快挙を達成！

### ツインリンクもてぎの情報

ツインリンクもてぎホームページ

<http://www.twinring.jp/>

ツインリンクもてぎモバイルホームページ

<http://mobile.twinring.jp/>